

## 普及活動情勢報告（令和3年1月分）

高吾農業改良普及所

### 梨の剪定講習会を開催しました！！



12月22日、JA佐川支所果樹部会で梨の剪定講習会が開催され、生産者7名が参加しました。  
花芽の付いている良質な枝を選び、剪定を行っていきました。生産者同士で剪定方法を教え合う様子が見られ、それぞれの生産者が熟考しながら樹を切っていました。  
農業改良普及所は講習会の中で黒星病防除について指導しました。新規薬剤の試験成績について説明を行い、生産者からは防除の間隔などについて質問がありました。  
今後も農業改良普及所は、梨の生産安定に向けた活動に取り組めます。

### ニラほ場で生育状況を調査しています！



農業改良普及所では、施設ニラ5ほ場を週に1回生育調査しています。  
草丈、葉幅、分けつ数などを定期的に測定することによって、温湿度管理や肥培管理によるニラの生育の違い、その年の生育状況の傾向や病害虫の発消長を把握しています。今年は、夏期の高湿による株養成の不足などが原因となって、1株あたりの茎数は多いものの一茎重は軽く、収量が少ない傾向が見られています。そのため、適期収穫や電照時間の短縮を指導しています。  
今後も生育調査を継続して、技術指導の基礎データとして活用していきます。

### 日高村集落営農法人先進地視察研修



1月17日、日高村の（農）沖名営農組合9名が担い手確保の事例を学ぶ目的で、四万十町の2組織で視察研修を行いました。  
（一）四万十農産では集落営農法人の組織連携体制の中で若手職員を雇用し、水稻作業に加えて加工用ネギ栽培等を行い、  
（農）ひらのは施設ニラ栽培を導入していました。どちらも水稻と園芸作物を導入することで若手の担い手を確保し、農地を守る体制を作っていました。参加者からは「担い手確保には、経営や雇用条件等についてしっかり行動計画を立てることが必要と感じた」との感想が聞かれました。  
農業改良普及所はこれからも集落営農組織活動を支援していきます。

### 刈り払い機事故や熱中症を防げ ～農作業安全講習会の開催～



1月19日にJA高知県佐川支所で農作業安全講習会が開催され、イチゴ生産者11名と茶生産者8名が参加しました。農業改良普及所は刈り払い機と熱中症の事例を中心に農作業事故の現状と対策について紹介し、重大事故を防ぐために日頃から備えるよう指導しました。県内の事例や映像資料を交えて紹介すると参加者たちは時折うなずきながら真剣に聞き入っていました。  
今後も普及所では農作業安全の啓発と安全対策の周知に努めていきます。

土づくりを極める ～佐川町農業経営研修会開催～



1月14日、佐川町で佐川町担い手育成支援総合協議会主催による農業経営研修会が開催され、農業者、農業関係機関21名が参加しました。

研修会では、「土づくりの基本的考え方」をテーマに高知土壤医の会の講師から土の特性の把握方法、土壌分析結果からみた課題と改善策、土づくりと施肥のポイント等について学びました。

参加者からは、団粒構造を作る耕運の考え方や有機物の入れ方等について質問が出され大変好評でした。

農業改良普及所では、今後も担い手協のメンバーとして地域の担い手育成の取組を進めていきます。